

第 8 回 APEC 交通大臣会合

日本、東京

2013.9.5

大臣共同声明（仮訳）

1. APEC2013 のテーマ"強いアジア太平洋：グローバルな成長のエンジン"と 3 つの優先事項：(i) ボゴール目標の達成、(ii) 衡平性を伴う持続可能な成長の達成、(iii) 連結性の促進、の下に 2013 年 9 月 5 日、日本東京において APEC 域内の交通大臣が一堂に会した。
2. 会合の前日に開催された「ビジネス・フォーラム」では、持続的成長、経済統合、地域協力を促進させる上で重要な政策立案・実施の強化に向け、各エコノミー、また APEC 域内全体で必要な交通とインフラについて政府と民間、双方からの参加者が認識を共有した。
3. 2011 年にサンフランシスコにおいて開催された第 7 回交通大臣会合のコミットメントを受け、「女性と交通フォーラム」もあわせて開催され、女性の参加拡大が APEC 域内交通セクターの成長及び持続可能性、また、経済競争力の向上にもたらすプラス効果を認識した。

連結性の向上

4. 我々は、APEC 域内における物品、人、サービス、資本の流れを容易にする交通システムの改善に引き続き取り組む。また、航空、海運、クルーズ産業、物流、都市間交通や都市交通、高度道路交通システム、インターモーダルネットワークの分野を含む連結性に関する取り組みを引き続き強化することを APEC 交通ワーキンググループ (TPTWG) に指示する。
5. 2015 年までに達成すべき ASEAN 域内経済統合の目標に留意し、ボゴール目標を 2020 年までに達成することを目指し、また APEC 域内における交通ネットワークのビジョンを共有することの重要性を認識し、我々は TPTWG に、我々が理想とする 2020 年までに到達すべき物理的かつ制度的な交通分野における統合をビジュアル化した「コネクティビティマップ」を作成し、次回大臣会合にて報告することを指示する。
6. 我々は、サプライチェーン・コネクティビティ・フレームワーク行動計画の交通要素を

実施するエコノミーの取り組みを歓迎する。

7. 我々は、地域経済統合を強化し、経済成長と貿易強化に貢献するため、統一的な、先進的な、かつ野心的な連結性に関する APEC 枠組とその三本柱—物理的連結性、制度的連結性、人的連結性—を確立する今年の新たな取り組みを支持する。
8. 開放された自由な国際航空体制は APEC 地域全体の商業及び経済成長に貢献するものである。第 6 回 ICAO 世界航空運送会議の結果の通り、締約国はそれぞれの状況と必要性に応じて市場アクセスの自由化を引き続き追求すべきであり、そのためには、例えば多国間国際航空輸送自由化協定 (MALIAT) のような既存の手段を使い、また、ICAO が勧告している国際協定の調査を含む国際航空運送自由化の長期的ビジョンの作成と採用を通して、我々は APEC エコノミーによる航空市場自由化の進展を歓迎し、この点における取り組みを続けることを奨励する。
9. 我々は、TPTWG による国際的なビジネス航空事業の経済的取り扱いにおけるベストプラクティスを提示する一連の基本的指針の進展を承認／留意する。これらの指針により、ビジネス航空は、前例のない、時間節約方法によりアジア太平洋の中の主要貿易拠点をつなぐことができる。これらの指針はまた、主要都市や製造拠点へのアクセスが必要な地域の小さなコミュニティや農村住民のためにグローバルな商取引への扉を開くのに役立つ。
10. さらに、我々は、TPTWG による商業的海運事業の経済的取り扱いにおけるベストプラクティスを具現化する一連の基本的指針の進展を歓迎する。これらの指針のもと、連結性に関する APEC 枠組にも記載されているとおり、海運は効率的で強く、安全かつ経済的に実行可能な方法でアジア太平洋の主要都市をつなぐことができる。
11. 安全性、セキュリティ、および持続可能性を強化するシームレスなインターモーダル輸送を達成する上での全地球的航法衛星システム (GNSS) のアプリケーションの重要性を認識し、我々は GNSS 実施チーム (GIT) の取り組みを支持し、GNSS の干渉検出および軽減するための機能を開発するため、各エコノミーによる継続的な取り組みを奨励する。

インフラ整備の促進

12. 我々は、交通インフラ整備が APEC 域内の経済成長促進のために必要不可欠であることをあらためて再確認する。これは、発展途上エコノミーだけでなく、先進エコノミー

にとっても課題である。我々は全てのエコノミーに、増大する交通へのニーズに応えるため、インフラの新たな整備、改善、更新に投資することを奨励する。

13. この点に関し、アジア太平洋地域における物理的連結性の強化を図る複数年の計画作成を通じて、APEC エコノミー域内およびエコノミー間における、良くデザインされ、持続可能で強いインフラの整備、投資、資金調達を促進するための協調されたアプローチを行うとする本年の提案に我々は留意する。
14. 交通関連のプロジェクトにおいて、適切かつ持続可能な投資や維持管理、運営を確保するためには、官民協力と政府間対話が重要であることを我々は留意する。
15. 従って、我々は TPTWG に、特に PPP における交通インフラ投資や資金調達、運用の経験とベストプラクティスを共有することを含め、協力を深める機会を追及するよう指示する。

“質の高い交通”の追求

16. APEC 域内の著しい経済成長は、開発のペースに見合い、ビジネス界や社会の期待により広く応えることができる交通ネットワークを必要とする。我々は、先進的な交通システム、政策や規制措置、革新的な技術とアクセシビリティの観点からユニバーサルデザインコンセプトについての情報を共有することの重要性を再確認する。また、インテリジェントサプライチェーンイニシアティブにおける取り組みを継続する。
17. この目的のために、我々は、他の関連する APEC フォーラムと協力して、利便性、効率性、安全性、セキュリティ、持続可能性などを優先事項として包含する" 質の高い交通 "ビジョンを構築することを TPTWG に指示する。

自然災害

18. 我々は、APEC 域内の自然災害に対して備え、強さを確保し、対応することの重要性を再確認する。我々はサプライチェーンや交通インフラを保護するため、引き続き過去の経験から学び、ベストプラクティスを共有する。

キャパシティー・ビルディング

19. 貿易と投資の自由化・円滑化と特に APEC 域内における交通分野の進歩のための課題



に関してのキャパシティー・ビルディングの重要な役割を認め、我々は効果的な経済・技術協力を提供する 2012 年の首脳コミットメントを再確認する。

20. 交通の安全性、セキュリティ、効率性と環境保護に関して、我々は、ICAO、IMO 及び他の国際機関でも行われている取り組み、また、情報の共有やキャパシティー・ビルディング・プロジェクトを通じた TPTWG の補完的な取り組みの重要性に留意する。我々は必要に応じてそれらの国際機関と協力することを TPTWG に指示する。
21. 我々は、関連する国際条約の実施を促進するために行われているキャパシティー・ビルディングの取り組みを支持する。

安全性とセキュリティ

22. 我々は、オペレーター、サービス提供者、施設に関わる安全性とセキュリティを向上させるため、TPTWG に全てのモードの利害関係者との取り組みを行うよう奨励する。
23. 我々は、エコノミーによる交通安全に関する幅広い取り組みや「交通安全のための行動の 10 年（2011 年－2020 年）」の進展を通じたこの主要分野における国連による貢献の重要性を認識する。我々は、目標、システム、技術が示されている、証拠に基づいた交通安全政策について先進エコノミーと発展途上エコノミー間で情報共有や協力を促進させる TPTWG の重要な取り組みを認識する。我々はこの取り組みを続け、道路や鉄道利用者の間で、安全性を向上させる更なる作業に着手するように TPTWG に奨励する。
24. 我々は、陸上交通セキュリティ国際ワーキンググループ（IWGLTS）との連携を維持し、陸上交通のセキュリティ分野におけるベストプラクティスを改善し、促進するための取り組みを継続するよう TPTWG に奨励する。
25. 我々は、APEC 域内の交通に関するセキュリティリスクを最小化するため、可能な限り最新の交通セキュリティ技術を活用し、また、効果的な交通セキュリティシステムの提供を支援するため、交通セキュリティ担当者に包括的な訓練を提供することに高い優先度を与えることを各エコノミーに奨励する。

アジア太平洋域内の汚職及び不法な取引への対抗

26. 我々は国境の内外における人身取引のための交通システムのいかなる使用をも非難する。国際労働機関によると世界では 2 千 90 万人が性的その他の労働搾取のため取引さ

れている強制労働の被害者である。我々の交通ネットワークは被害者の移動手段として取引人に利用される可能性があることから、その利用に対する監視、抑止、防止を強化する方策について探求するよう TPTWG に指示する。

自動車基準調和

27. 我々は、自動車基準と技術要件の調和を通じて、自動車の安全性や環境性能の向上やさらなる経済統合を目指し、国連欧州経済委員会（UNECE）の自動車基準調和世界フォーラム（WP.29）によって決められている合意に基づく調和に関する取り組みに参加することをメンバー・エコノミーに奨励する。

女性と交通

28. 我々は、交通部門における女性の参加のためのベストプラクティスの集約に係る TPTWG の取り組みを称賛する。我々は、交通部門における女性のための機会を向上させ、時間の経過に応じた進歩の測定を可能にするデータの収集と資源の共有のためのフレームワークの構築を進展させるように TPTWG に指示する。我々は、この重要な試みを支持するための自主的な取り組みを継続することをそれぞれのエコノミーに奨励する。

APEC グリーンポートイニシアチブ

29. 我々は、域内における港湾と関連する海運セクター間の協力、コミュニケーション、キャパシティー・ビルディングの促進に向けたグリーンポートイニシアチブに関する APEC ポートサービスネットワーク（APSN）の継続的な取り組みを支持する。我々は、域内の環境意識を向上させ、ベストプラクティスを共有し、APEC の港湾の全体的なパフォーマンス、効率性、持続可能性を改善し、グリーン成長のための技術革新を促進させるグリーンポートアワードシステム（GPAS）の価値を認識する。我々は、引き続き環境に配慮した港湾の整備に取り組むことを APSN および全てのエコノミーに対し奨励する。

APEC 旅行円滑化イニシアチブ

30. 我々は、APEC 旅行円滑化イニシアチブの関連事項を促進するために、他の APEC のフォーラムと連携するよう TPTWG に指示する。

結び

31. 我々は、他の国際機関や地域機関、民間セクターやその他の利害関係者と APEC 域内での協力活動を継続することにより、APEC 地域のさらなる発展に貢献することへの我々の決意を再確認する。

32. 強い関与とフォーラム相互間の協力は、APEC 域内の交通が安心、安全、便利、効率的で、持続可能であることを確保するために必要である。我々は、貿易や通関に関する手続き、ビジネスモビリティ、自動車産業、エネルギー効率、観光、テロ対策などの分野における APEC 域内の補完的な取り組みを認識する。我々は TPTWG と関連する APEC フォーラムの間での継続的な協力を奨励する。

33. 我々は、APEC 交通大臣特別会合（STMM）、第 7 回 APEC 交通大臣会合（TMM7）やそれ以前の大臣会合で提言された方針を実施するための努力を継続するよう TPTWG に指示する。

34. 我々は、APEC 域内における交通セクターの更なる発展に向けて邁進するように、2015 年にフィリピンで再会することに合意する。